

## (4) 河南地区

### ■ 現況

河南地区は、本市の西部に位置し、桜の名所として知られる県立自然公園「旭山」を中心とした丘陵地帯と、広大な美しい田園が広がる地区です。東日本大震災後には、一部の地域に新しい住宅地が整備され、半島沿岸部から内陸部への移転により人口が増加しました。

本地区は農業が基幹産業で、旧北上川の豊かな水に育まれた肥よくな土地を利用した稲作が盛んであり、「ササニシキ」「ひとめぼれ」などの良質米や、大豆、大麦などの畑作物の産地となっています。施設園芸においては「きゅうり」をはじめ、「トマト」や「イチゴ」など多彩な野菜の生産が盛んであり、東日本大震災後には、沿岸部の被災した園芸農家の早期営農再開に向けて、須江地区に 3.9ha の施設園芸団地が整備されました。整備された園芸団地では、環境制御機器や養液・養液土耕栽培システムなどを備えた最新式の施設で生産に取り組んでいます。

さらに、東日本大震災後に須江地区に整備した「須江地区内陸型産業用地」は、震災により被災した企業や、復興事業などによって移転を余儀なくされた企業の移転先として整備され、食品加工業や建設・運輸関連業など 25 社が移転・立地し、多くの人が働く産業用地となりました。

観光においては、桜の名所である「旭山」があり、春になると桜が満開になり、訪れる人の目を楽しませてくれます。明治時代後期に造られた日本庭園である国指定名勝「齋藤氏庭園」では、庭園から背後の丘陵地まで一体感のある空間が近代庭園として高く評価されており、春の桜、初夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色と、四季折々の風情が楽しめるほか、庭園の付近には宝ヶ峯遺跡があり、縄文時代後期の土器などが発掘されています。

また、江戸時代から続く伝統的な祭りである市指定無形民俗文化財「鹿嶋ばやし」のほか、大沢南部神楽や和漕・鹿又法印神楽などの伝統芸能が受け継がれています。

多目的ふれあい交流施設「遊楽館」においては、文化ホール、アリーナ、室内プール、図書館などの施設が、文化交流や健康増進、生涯学習の拠点として活用されるとともに、隣接する国際公認コースの「かなんパークゴルフ場」では、冬期間も利用できる立地条件を活かし、市民の健康増進を図るとともに、各種施策と連動した活用が期待されています。また、市内外の方が利用できる「旭山体験農園」や「旭山農業体験実習館（コロボックルハウス）」では、自然に親しみながら農業体験・交流活動をすることができます。

### ■ 主要課題

移転による人口の増加でベッドタウン化が進み、それに対応した道路網などのインフラ整備や公共交通体系の整備が追いついていない地域がある一方で、急激な人口の減少や少子高齢化が課題となっている地域もあります。

内陸部に位置していることから、東日本大震災時には津波の被害はなかったものの、地震による建物などへの被害が多くあったことや、平成 15 年に発生した宮城県北部連続地震により、家屋の倒壊や急傾斜地の崩壊など大きな被害を受けていることから、今後も災害に対する対策が必要です。河南地区の多くが浸水想定区域に該当しており、近年大型の台風の発生が増えていることなどから、台風や大雨時における住民の避難経路の確保や、地区の里山整備による山林の土砂災害防止機能の強化などが求められます。

石巻河南道路について、住民の生活道路と物流道路の機能分離を図り、交通の安全性の向上のため、関係機関と協力し、整備を推進する必要があります。

産業においては、地区内には多くの農地が存在し、本市の農業生産の中核地となっていることから、効率的な農業を推進するため、引き続き、ほ場整備などの基盤整備を推進するとともに、農業の担い手の確保や六次産業化の推進、持続可能な農業体制を構築する必要があります。

「遊楽館」「かなんパークゴルフ場」「旭山」や「旭山農業体験実習館（コロボックルハウス）」など幅広い世代が活用することができる文化・スポーツ・交流施設があることから、施設の特性を活かし、市内だけではなく周辺地域からの利用者が増加するよう努める必要があります。

## 将来展望

快適な道路網などが整備され、豊かな農業地区と、快適な都市地区が、それぞれ発展しているとともに、「遊楽館」を活用した文化行事などの取組や、「かなんパークゴルフ場」を活用したスポーツ振興などの取組も行われ、市民が心豊かで元気な暮らしが営まれています。

## 施策展開の方向

- 「遊楽館」「かなんパークゴルフ場」「旭山」や「旭山農業体験実習館（コロボックルハウス）」などについて、市内だけではなく、市外からの利用者が増加するよう、施設のメリットを広くPRし、多くの人々との交流の活性化や交流人口の増加を図るとともに、市民のニーズにあった運営に取り組みます。
- 石巻河南道路の整備については、早期の整備完了に向けて、関係機関と協力し、整備を推進します。
- 今後の人口動向を的確に把握しながら、持続可能な公共交通体系の構築や生活道路の整備を促進するとともに、市民ニーズに対応した都市機能の整備を推進します。
- 地震や水害などの自然災害に対応するため、関係機関との連携を強化するとともに、自主防災組織の育成などを通して、安心して暮らせる環境の構築を図ります。
- ほ場整備事業により、優良農地を確保するとともに、用水・排水施設の整備などをさらに進めながら、効率的な営農と低コスト・高品質・高生産性の農業を実現し、安定した農業経営の確立に取り組みます。
- 農業の担い手の確保や販路拡大を図り、基幹産業である農業の振興を推進します。
- 地域住民の自助・互助による健康づくりや介護予防、身近な地域における支え合いの取組を推進します。
- 文化・スポーツ・交流施設を活用した多世代交流やコミュニティ活動を推進し、地域の活性化と伝統や文化の継承に取り組みます。